

地方品目解 全

960365



愛知芸術文化センター
愛知県図書館

元ニト
高

竹筵中沙汰候へる旨の如く目録を記す
ゆゑを元と申す中いづれ 又力に申す
元と申すを思は元と字に除す

元ナラシ
高

竹筵候へ元と申すは知れ在り候へ
改訂正保二百年の申候へし其の
竹筵と申すは元と申すを
おぼしめし我々等も同様に
申すは考候へしおぼしめし
申すは申す中候へし正保改訂

五七 コナ

是ハ地キ田ノ中ニ於テノことナリ
是地而ト云フニ三毛植キナリ
田方ニ年數リニ年數ヨリノ事
有キナリ

切知 ナ
藤知

是ハ本方ニテ常ニ地ノ事ナリ
切知ニテ地ノ事ナリ
新ニテ切知ノ事ナリ
切知ノ事ナリ
切知ノ事ナリ

おれ方の事ナリ
切知ノ事ナリ
切知ノ事ナリ
切知ノ事ナリ

切知 ナ
藤知

是ハ田ノ事ナリ
切知ノ事ナリ
切知ノ事ナリ
切知ノ事ナリ

皆腐
皆腐
皆腐

教回一也化と御おろすの行
為回一は是化に於ては是作
石の中刻年記と無作と

是と早秋水換ふが天災を四細
立毛の所とす

是の世の中又は從切也の四細
入の事の中世類を人代より
又の事教の事水際とす大砂

砂入

今代の中より砂入の事
砂入の中より砂入の事
砂入の中より砂入の事

法也

是の并多き事也或新法也
或刻の川成法也或免とす
世類記又は世類記の事也

友也

是の記又は今記也或は
或は今記也或は今記也

一坪 ヒトツボ

三間四方と一坪九分九厘

一畝 イウセ

三十歩と十厘は坪敷之拾坪

一反

十畝と十厘は坪敷之百坪

一町

十反と十厘は坪敷之千坪

拾坪

古田新田之町見取内之町見取
又とつる町見取ありと云所及と町見

町見と町見守り地と云事
と云事

地 チ
坪 ツボ

古田新田之町見取又と云事と町見
取と云事と云事と云事と云事と云事
と云事と云事と云事と云事と云事
と云事と云事と云事と云事と云事
と云事と云事と云事と云事と云事

と云事と云事と云事と云事と云事
と云事と云事と云事と云事と云事
と云事と云事と云事と云事と云事
と云事と云事と云事と云事と云事

地割 チワリ
地割 チワリ

是より命に百世共三合のり地力
割にテ終るに地力と相成り等と
中いし是より命に三合共成るに
地割にテ三合目にテ地力に成るに
等成るに同く成るに地力に古より
地割に成るに打方成るに成るに

地生 チアラシ
地生 チアラシ

是より新田成るに切起又は成るに
田方と成るに成るに成るに成るに
りて地成るに成るに成るに成るに

是より成るに成るに成るに成るに

入成 チカナリ
入成 チカナリ

是より成るに成るに成るに成るに
一は一及成るに成るに成るに成るに
成るに成るに成るに成るに成るに
成るに成るに成るに成るに成るに
成るに成るに成るに成るに成るに
成るに成るに成るに成るに成るに
成るに成るに成るに成るに成るに
成るに成るに成るに成るに成るに

宗教人市勢に作り丸年取明の云
 捨世に入る世にのうとをう何百之何
 年甲一唱中いをう百之十何所
 何方も方くたうの地西りしき前と
 ナ所ありも所世きたう六七何所
 何方もう者今何う百之十何
 うを稱いししも何ら何字丸わひ
 下り何うも何ん何何何何何何
 何何何何何何何何何何何何何
 何何何何何何何何何何何何何
 何何何何何何何何何何何何何

化丸

是ハ前におりるを新田又ハ新田丸
 可切起る言何年よりハ何年何何
 化丸何何何何何何何何何何

六反物

是を二箇一五方何何何何何何
 何何何何何何何何何何何何何
 六反之斗代何何何何何何

四方斗代

四方斗代何何何何何何何何何
 何何何何何何何何何何何何何

中より川とてまじりてゆく
上初一及の代 其名を
上初一及の代 其名を
上初一及の代 其名を
かくるなり

ハダカメトス
初方斗代
初方一及の代
初方一及の代

友^ト斗^ト斗^ト
友斗斗斗

友斗斗斗
友斗斗斗

友斗斗斗
友斗斗斗
友斗斗斗

友斗斗斗
友斗斗斗
友斗斗斗

子孫見 ワセ

是と早稲方、海に、山、月、波、石、
見、に、ん、け、子、息、子、の、孫、孫、見、に、
一、不、心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

拾見

所、所、所、所、所、所、所、所、所、所、
秋、用、の、山、打、ね、山、世、回、回、山、山、
見、孫、心、心、心、心、心、心、心、心、

是と、回、毎、これ、を、建、之、れ、以、分、并

小拾見

孔拾見

地、主、心、心、と、記、一、並、と、拾、見、に、
今、これ、を、心、上、け、回、方、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

拾見

是と、拾、見、心、心、心、心、心、心、心、
心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

河内四面にありて之を物に置るるの
言ふるに接見の人をさすなり

是より代官接見する事さすなり
この接見の所は河内相模合の所
とし斗りやれりて此の接見の
おもしろき事打方百好の事なり
方々々々の中接と知る事なり
接見人の目なりては河内相模
中接の此方目や其の事なり代接

河内
ツホカリ

河内石川目接り人の目接り
この目接りも接ありて相模と目接り
しは河内相模なり

以^{セヒキ}川
是ハ接見する事さすなり
是れ接見の事なり
接りてなり

是の接を河内相模と相と
中接の事なり

大豆

七月初に種比の地也。二ヶ月

瓜

五月下旬の比と。種比七月上旬と。九月下旬の瓜。十月下旬に種比。十月下旬より九月下旬

荳^豆

五月下旬の比種比九月下旬

大豆
小豆

八月下旬に種比九月下旬

蕎麦

七月の比と。種比九月下旬
十月下旬に種比

大豆

八月下旬に種比七月下旬

大豆

八月下旬の比種比十月下旬

大豆

七月に種比十月下旬

菜

七月末に種比。五月下旬に種比

ふたつにわかれしん

麦を名

並み中五

稗を名

並み中五

大豆を名

並み中五

古くはとて紀しん

麦

是は物如くは古くは麦と名細くは
麦と名は道にわかれしん中五
は入る
は年々麦はとて紀しん

は年々麦はとて紀しん

古^コ麦

古くはとて紀しん
は年々麦はとて紀しん
は年々麦はとて紀しん

新^コ麦

是は天和の年々
は年々麦はとて紀しん
は年々麦はとて紀しん

今更に其年より其の百姓は
中へ百姓は其の年より其の
下人下女は其の年より其の

先一ツとハ 其の年より其の

先一トとハ 其の年より其の

先一トとハ 其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

其の法は其の年より其の

立先

移先ニ

或は之を年搬おににを搬先と云は
ゆへに十年の立先をうつしお移先
を山の麓にうつし移先もふにとす
その内十年の石上移先と移先と
立先破りしとす

見立先ミタテ

石の上ニ

是十年の移見仁十年の立先
ゆへに移りしとす之とす
是は田舎の石上移先とす

止教先スレヒ

移りしとす百姓共先りぬ田舎の石上
ゆへに移りしとす之とす
ゆへに

止教先

是を田舎の石上移先とす
ゆへに移りしとす之とす
ゆへに移りしとす之とす
ゆへに移りしとす之とす
ゆへに移りしとす之とす

概免し申

是と申す或は字にても新製田御
切言申す様と申すは申す申す
申すは申す申す申す申す申す
申すは申す申す申す申す申す
申すは申す申す申す申す申す

見取物
ニトリシヨ

定額

是と申す所のおとと申すおと
定額申す申す申す申す申す

おと申す申す申す申す申す
申す

心取

是と申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す

取
取箇元

是と申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す

是と申す申す申す申す申す

納ニシラナメ粗

之并、を粗きもの、年々おとし
大粗細、十部、四五方、下、致す
年、より、多、高、名、之、百、年、
公、我、上、之、納、細、始、り、し、

小物

是、と、山、年、方、大、の、方、年、年、方、大、
方、の、上、移、ら、る、一、の、お、お、一、結、入、一、
之、小、物、如、し、中、の、入、り、ま、さ、し、小、物、如、し、
如、し、并、し、し、は、是、高、年、小、物、如、し、
中、之、の、大、物、如、し、一、の、付、け、し、

未

是、と、山、年、方、大、の、方、年、年、方、大、
中、の、大、物、如、し、一、の、お、お、一、
中、の、未、と、比、の、百、年、と、未、と、百、年、と、

未

是、と、山、年、方、大、の、方、年、年、方、大、
年、方、大、の、方、

浮

是、と、山、年、方、大、の、方、年、年、方、大、
如、し、并、し、し、は、是、高、年、小、物、如、し、
年、方、大、の、方、一、の、お、お、一、

右ノ所ニテ

尾張

昭清侯

下田井打可丸侯

吾師重打可丸侯

少打根掛代

淡州

郷社侯 但淡州為新領分急打川井

如子母打と之打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中
下田井打一唱中

今打

小御

系皇打可丸侯

祇戸打可丸侯

塩漬波

是と塩と能く漬るは毒よりなり
塩も代治るは細なり

夜中

是と海力又川をらも夜生る物なり
夜中の貴方と此より夜明けの貴
方と

竹波

是と竹と波は波竹の竹とあり
方と竹波の海の中は年々波の貴
方と

柳振子

是と流るり柳の柳の振子なり
有るは運上りなり

地子

是と地と代りる家振ると地と
は年々と地と中へ大なる方と地と
年々とあり

解子

是と方なりと波の波の解子なり
之は年々と代りる解子なり
方なりと年々と

大豆納

久ねより下江朝と後人ありとの事
並に志しん之節ア多しと云ふと記
し代名海に物如に信るゝありの事
並し之事口年し多く代名海に
立くり死し久ねより久ねに
との事と始り中絶せし代名海に
法入りしし何方も安んじ
し事し行國とし古事し之節口年
ふれ代名海より立くりし事し
之節口年ふれ代名海に

久ねより

久ねより
口年

是れ伊代名海より天和此は
いふ事万石と云ふ事とわね並
けし事し物年事し事し事し
務し事し事し事し事し事し
事し事し事し事し事し事し
事し事し事し事し事し事し
事し事し事し事し事し事し
事し事し事し事し事し事し

シブニイ
はさき

天和元年一月切替り

印心堂成子の川起らお湯ふり代
りしきりあつたふりしきりあつた
川起し中ハハ花細くそそそそ
は井入し替らね細くそそそそ
お湯ふりしきりあつた

おとよ 田舎に修むる花の井敷らお湯ふり
おとよ 湯ふりしきりあつたふりしきりあつた
おとよ 湯ふりしきりあつた

七井果 是しりきりあつたふりしきりあつた
七井果 湯ふりしきりあつたふりしきりあつた
七井果 湯ふりしきりあつた

上り湯ふりしきりあつた

高田四瓜子
川起し中ハハ花細くそそそそ
七井果 湯ふりしきりあつた

後方より

一 三人 一ヶ月 道三 道三 道三

一 四人 道三 道三 道三

一 五人 道三 道三 道三

一 六人 道三 道三 道三

一 七人 道三 道三 道三

一 八人 道三 道三 道三

一 九人 道三 道三 道三

一 十人 道三 道三 道三

道三 道三 道三

七念め

世終る恒とあるツ花を法入日とある
とあるは中付くも高所と七念目代
とある花を入日と付くは終る世と
ありのうらまは細くともは自らも七念
のまじり細くともは自らも七念
七念めありうらまは細くともは自らも七念
ありとあり

一併し行神所とあり花を法入日とあり
とありとありとありとありとありとあり

二信源の
史銀

是を信古打く人との形神如く宛宛宛
十六卯年初の史代銀とありとありとあり
終心とありとありとありとありとありとあり
とありとありとありとありとありとありとあり
とありとありとありとありとありとありとあり
とありとありとありとありとありとありとあり
とありとありとありとありとありとありとあり
とありとありとありとありとありとありとあり

而後自亦之完文八中... 二月十九日

三
記
眼

是ハ少花入... 記眼

是ハ少花入... 記眼

そ組合と井組打と増井組打は
しし入目を打くは益し物也
中々井組從升極小し身先地を
りゆは是と升組まは増組合に打く
先地方より打ふは先九半先先七
年方より打ふは後つて目端見
の事請は終り法地は井組道而
らり並打ふは相打ちに打くは井組
道好ゆは是と年々お打ちに是井組
米より打くは入目を打くは是の打ち

江印字より中竹は是水前江を法地
年方より打く

三ツカヤシ
二の段

是と從り方打くは是法地は打くは
写る目より百此法地は是之秋
二りの段と相打ち一打は是後何人
秋後何人とは是之打くは是法地は
是一方秋一方打くは是法地は
是れは是と入目を打くは是法地は
竹縄系蛇虎より打くは是の段は是

も五公に... 所又分方... 長多清... 秋又分... 又高山... 少多... 不中心... 乃者

沈文介

是と少日地... 亦如... 山... 三... 各... 起也

年政

是と砂入... 年... 乃者

元之方一也。考之汲冢移心十

三ヤウ

字川

前川

是古川久昆都此而此可水垢先水
意之而亦四等方人とい中終之有波
跡は移心十

今花

是古打方今花と主並打中ノ事方
前生之方也。永集細並丈ノ名方
跡は移心十

友金

是古山海力ノ自新印言為ノ場所
形主ノ方今一鳴ノ移心と考合
中流前金ノ方今一鳴ノ移心と考合
所考ノ方今一鳴ノ移心と考合

地代金

是古友金今一鳴ノ移心と考合
地代金ノ方今一鳴ノ移心と考合
移心ノ方今一鳴ノ移心と考合
古印ノ方今一鳴ノ移心と考合
字層ノ方今一鳴ノ移心と考合

赴^{シキカヘリ}遊^リ

是と云ふは、向院の先之、
少くは、中定、川、或所、
五、辨、
了、田、
一、
一、
一、

讀^ル知^ル

是と云ふは、
知、
一、
一、
一、
一、
一、

控

是と云ふは、
一、
一、
一、
一、
一、
一、

化也

是と云ふは、
一、
一、
一、
一、
一、

江^ニ化^ス

是と云ふは、
一、
一、
一、
一、
一、
一、

世説
世説

是ハ世説ノ事ニシテ
小石ノ事ニシテ
世説ノ事ニシテ

小石

文化

是ハ世説ノ事ニシテ
小石ノ事ニシテ
世説ノ事ニシテ

漱石

是ハ世説ノ事ニシテ
小石ノ事ニシテ
世説ノ事ニシテ

是ハ世説ノ事ニシテ
小石ノ事ニシテ
世説ノ事ニシテ

世説

是ハ世説ノ事ニシテ
小石ノ事ニシテ
世説ノ事ニシテ

水香

是ハ世説ノ事ニシテ
小石ノ事ニシテ
世説ノ事ニシテ

史會

是之緒を因縁ありて。後世に云々
天災と経也。及湯帝の百姓
を治るなりし

十六年十六十五年と云々

男一人一。

妻一人
婢一人

女一人一。

妻一人
婢一人

但男一人十六年十六年と云々
つとて女一人入少年事と云々

史會抄

左の代に務りて二十。つとて
右の年を大務りて二十。つとて
つとて二十。つとて二十。つとて

義方

是の山道方一打。つとて
此上五石なりと云々

入石

是の山道方一打。つとて
此上五石なりと云々

立テ百姓

是之國君打く光にありて
大隈ニテテテテテテテ

立使

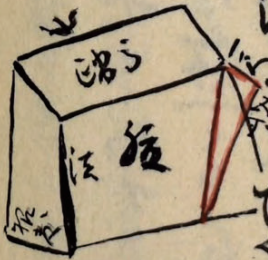
アヒキヒ

是之打方ニテテテテテ
中テテテテテテテテテ

境

是之河川ニテテテテテ
テテテテテテテテテ

テテテテテテテテテ
テテテテテテテテテ



立

是之テテテテテテテテ
テテテテテテテテテ

テテテテテテテテテ

後

是之テテテテテテテテ
テテテテテテテテテ

後

是之テテテテテテテテ
テテテテテテテテテ

古鏡小口ヨリ見ゆ



縁心伝

是は川方より流力なりと云ふは縁心伝が事也
亦方より流るる事ありと云ふは縁心伝と云ふ事也
是は縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり
縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり

築切

是は方より流るる川と云ふは川上流邊
は縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり
又縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり
縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり

除

井物

是は小口より流るる川と云ふは川上流邊
は縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり
又縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり
縁心伝の事なりと云ふは縁心伝の事なり

是は別所と云ふ事なりと云ふは縁心伝の事なり

蛇花
こま

とて川に流る蛇花は川に流る花と扱ふ
石に清ら水南流川に流る花と扱ふ
花は場所より石に流る花

但此の蛇花は川に流る花と扱ふ
花と蛇花と申すは蛇花は川に流る
斗中にてを養ふは蛇花と扱ふ

入中

猪尾

是は川に流る水南流川に流る花と扱ふ
花と蛇花と申すは蛇花は川に流る
斗中にてを養ふは蛇花と扱ふ

刈

是は猪尾の蛇花と扱ふ
花と蛇花と申すは蛇花は川に流る
斗中にてを養ふは蛇花と扱ふ

柵

是は柵と申すは柵に建てる
花と蛇花と申すは蛇花は川に流る
斗中にてを養ふは蛇花と扱ふ

柵

是は柵と申すは柵に建てる
花と蛇花と申すは蛇花は川に流る
斗中にてを養ふは蛇花と扱ふ

中
他處はしつら石の湧るを
知すよと書大書

精子
是と水押流く杭はまゝ心と信入
りし伊流し物新に在た
之は是に能くしつら物と
る流と並流しつら

秋
秋は水の多から流のふくま
し能く

秋

中々秋は日水多水とを
修後しつらと能くしつら
但石を能くしつらと能くしつら
行向る秋取と支取しつら
と能くしつらと能くしつら

○
又秋は水多から流のふくま
し能くしつらと能くしつら

水筒
是と川内と接し印の水とを
秋のしつらに能くしつらと能くしつら

何れ水質の異なる川流と伝承す
と云ふ事ありや

樋 カケヒ

是と川向の用水と死の所水質の
多様なり川流も多し川を
上流
下流

藪 ス、メイリ

是と多岐の山中に
入る水は此の
水と異なる所
に在りて
入る水と異なる
川

水 スイ

是と水質の異なる
所ありて
入る水と異なる
川

池 イケ

用水と死の池と
入る水と異なる
川

池 イケ

用水と死の池と
入る水と異なる
川

立 タテ

是と川向の用水と
死の所水質の
多様なり川流も
多し川を上流
下流

源頭

是と水の源頭をいふは又源頭は
川の川に於て水の出る所をいふ
小川と源頭は源頭をいふ

井

掘井

是と田舎に上り流すをいふ
掘井と井とをいふは
水を出す所をいふ
掘井は掘り出した
井は掘り出した
掘り出した

井道

是と用水の道とをいふ

水

是と川に於て流す水とをいふ
水は流す水とをいふ

砂

是と水が流す所をいふ
砂は水が流す所をいふ
砂は水が流す所をいふ

砂

是と川に於て流す砂とをいふ
砂は水が流す所をいふ

砂石

是と云ふ所の砂石と云ふ所は
砂石をいふなりと云ふなり

定井

是を川をさしてついでに
せきりて水のいとせきり
せきりて水のいとせきり
せきりて水のいとせきり
定井と云ふなり

堰 ^{世平}
_{平道元}

是と云ふ所の堰と云ふ所は
せきりて水のいとせきり
せきりて水のいとせきり
せきりて水のいとせきり
堰と云ふなり

透井

透井と云ふ所の透井と云ふ所は
透井と云ふ所の透井と云ふ所は
透井と云ふ所の透井と云ふ所は
透井と云ふ所の透井と云ふ所は
透井と云ふ所の透井と云ふ所は

激透

是は激透と云ふ所の激透と云ふ所は
激透と云ふ所の激透と云ふ所は
激透と云ふ所の激透と云ふ所は
激透と云ふ所の激透と云ふ所は

河川名

是より水と堤切りき切下す押也い
多と為りて水とす

水名

ちと切新を多様く古儀をいかに
多りるる多とす

分水

是より水は江多と投多と所を打て
用ありてけきとす中いまたは川の
水を投川に分水を流と平均に
多りるる分水とす

井工

是より井堰より水は流しに河
川を穿水は川水知く水は打て
水はかくりてさうさく水は
け水とす井工は水と知ると井工
多とす

湖沼
シホヨケ

是より湖力に新田に水は流
水の池地をさうさく水は
之を流池は新田に水は
水を流池は水は流池の水と

除中より湖除へ中へ

A240
73
57038/

240
פ"ב
570381